

「知っとう?加古川」

「石棺仏の多い地域!?!」

石棺仏のほとんどは近畿地方に分布し、その9割以上は兵庫県播磨地方、なかでも加古川流域を中心に加西市、加古川市と、その周辺都市に集中していると言われています。

その一つ、平荘町小畑にある「八つ仏」は、紀行番組で俳優が探しに来たほど、知る人ぞ知る「石棺仏」。指定文化財にも指定されています。

石棺は、家形石棺の蓋石で、蓋石の内側と縁部分に合わせて8体の尊像を彫り出しています。いずれも舟形の輪郭を彫りくぼめた中に薄肉彫りしており、半月形の蓮華座の上に座る像高17.6センチメートルから25.7センチメートルまでの坐像が配されています。内側上段の2体及び縁部の4体は定印の阿弥陀如来坐像、内側下段の向かって右の像は捧珠持錫像の地藏菩薩坐像と考えられ、向かって左の像は胸前に両手を合わせる或いは両手で鉢を持つように見える坐像で尊名は不詳です。

鎌倉時代の石仏と比べると、表現に形式化が進みかけているものの、近接する長楽寺墓地に立つ「六尊石仏(加古川市指定文化財)」とともに、南北朝時代の大形で迫力のある石棺仏として、注目されてきたものです。

石棺材に複数の仏像を彫り出したこのような形式の石仏は、加古川地域の特色を示すものです。【加古川市教育委員会HPより】



「足元や、こんな所にも」



JR加古川駅からベルデモールに向かうと、足元には加古川の名所を紹介した路面サインがあります。その横断歩道手前には先に紹介した将棋のベンチ、左を見ると階段があり、良く見ると加古川の名物のイラストが描かれています。カラフルな階段が明るく加古川を紹介しています。

「日本最古!?!」

別府町にある宝蔵寺の境内にあるオリーブ。

明治12(1879)年、明治政府がフランスから日本で初めてオリーブの苗木を輸入し、そのうち約600木が「神戸オリーブ園」に植えられました。このオリーブの苗木を多木化学創業者の多木久米次郎氏が同園から譲り受け、宝蔵寺の境内に植えました。その後、神戸オリーブ園は閉園となったため、現在は宝蔵寺に植えられているオリーブが日本で最古のオリーブと言われています。



「世界三大ピアノ」が加古川にある?!



BECHSTEIN

「C. Bechstein(ベヒシュタイン)」

「全てのピアノ音楽はベヒシュタインの為にのみ作曲されるべきだと思う」の言葉を残したブラームスをはじめ、ドビュッシー、ラフマニノフ、バルトークといった偉大な音楽家に愛されてきました「ベヒシュタイン」。みずみずしい音色とクラシカルな響きは「ピアノのストラディバリウス」と呼ばれるほど。

日本楽器(現ヤマハ)は、ベヒシュタイン社から技術者を招聘したり、河合小市(後に河合楽器設立)らを技術研修目的に派遣するなどして、ピアノの設計をはじめ製造技術のノウハウを学んだと言われています。

加古川ウェルネスパークのアラベスクホールで昨年度開催された「ベヒシュタイン」を弾くイベントは、クラシック専用ホールとして、すぐれた音響性能を誇るホールで名器が弾けるとあり、申込開始後すぐに定員に達するほどの大人気イベントとなりました。



Bösendorfer

「Bösendorfer(ベーゼンドルファー)」

加古川市役所の数百メートル南にある松風ギャラリーは、ハリマ化成(株)の創業者・長谷川末吉氏が平成6年に市へ寄贈した施設。展示室では絵画展、ホールではコンサートなどが実施されています。そのホールにあるのが「ベーゼンドルファー」です。ベーゼンドルファーは手作業で作られているため、年間製造数はわずか250台、世界に約50,000台があるだけで、日本国内で見かける確率はそれほど高くありません。長谷川氏が自らオーストラリアに赴き購入したこのピアノは、標準の88鍵よりも多い92鍵盤のモデルで、響板が広がり、共鳴する弦が増えたことにより、中低音の響きが豊かなことが特徴です。



端の黒い鍵盤が標準より多い鍵盤。



STEINWAY & SONS

「Steinway & Sons(スタインウェイ・アンド・サンズ)」

127の特許を取得しグランドピアノの設計を完成させて近代ピアノ製造の基礎を作り、独自の設計・製造工程で作るピアノは世界中で愛され、世界三大ピアノの中でも、多くのピアニストが弾いてきたのが「スタインウェイ」。保有する加古川市民会館では、世界の名器を知ってもらおうと様々な取り組みを行ってきました。その一つがスタインウェイを分解し音の出る仕組みなどを知るイベントです。その後のミニコンサートで名器スタインウェイを弾いたのが高砂出身で、映画「にしきたショパン」にも出演し、各方面で活躍するピアニストの野々村 亜梨沙さんです。野々村さんは、加古川市が保有する「世界三大ピアノ」を弾きくらべるイベントのアイデアを出すなど、ピアノを通じた音楽文化の啓蒙に努めています。



野々村 亜梨沙さん

スタインウェイは、高音域の繊細でクリアな音色と中低音域の豊かで美しい音色を持ち合わせ、世界中の多くのピアニストから支持を得ている素晴らしいピアノです。名器が奏でる素敵な音色を加古川市民会館でお聴きいただきたいです。コンサート開催の折には是非お越しくださいませ。



加古川市民会館でスタインウェイを弾く野々村さん